



第52代理事長

清水尚則

副理事長

江原 正樹
亀井 一浩
國定 崇伸

専務理事

阿部 貴行

事務局長

村松慎太郎

主管事業飛翔特別委員長
大澤 秀也

学び室長

眞尾 貴年

豊かな心育成委員長

浦山 功

活動力育成委員長

小森 雅之

文化財バトロール隊長

藤倉 司

マラソン大会実行委員長

森田 公博

監事

櫻井 幸広
菊地 義典

スローガン

自らが燈となりて、一隅を照らさん!

～未来を受け継ぐ者たちのために～

○会員数 60名

○年会費 120,000円

2009年度は、50周年を経て掲げられた中期ビジョンを実践する最初の年となったが、折しも、2008年のリーマンショックを発端とした、未だかつてない世界同時不況の真っ只中のスタートであり、メンバーの企業や関係諸団体の状況等を含め、大きな不安を抱えたスタートであった。

「足利に生まれて本当に良かったと、子どもたちが心の底から笑顔で言える。そんなまちにしたい」そのために、私たちが自分たちに出来ることをしっかりと行うこと。小さなことでも構わないから、今の時間を無駄にせず、未来を見据えて、行動すること。様々な環境変化が当たり前の世の中で「地域社会のための、足利のためのJC」とあるという軸をしっかりと立て、自分の背骨も同じ軸を持ち、ブレない活動をしていく。という想いでメンバー一丸となって活動した年でもあった。

また、足利文化財バトロール隊と足利尊氏公マラソン大会という2大主管事業の今後を考え、机上の理論だけに終わらずことなく、実際にアクションをおこしていく委員会を発足させたことは、後の2大主管事業に大きな影響を与えた。

その他、市民とともにこの足利を築き上げる第一歩である、自分たちのまちの長を自分の目で確かめ、自分の手で選ぶための一助となる「足利市長選挙公開討論会」の開催や、今後社団法人格をもつ団体として避けて通れない「公益法人制度改革」に伴う方向性につき、理事はもちろんのこと全メンバーで何度もディスカッションをし、「足利JCは公益法人格取得に向け活動を行う。」という総会決議も行った。



足利JCの主な出来事

- ◆例会「このまちに響け!ふるさと心のコンサート～未来を受け継ぐ子供たちへ～」講師: 森敬恵氏(ソプラノ歌手)
- ◆例会「考えよう思いやりの心。育もう子供たちの豊かな心～豊かな心の種まき運動をとおして～」講師: 山本よしき氏(詩人)
- ◆例会「論語から学ぶ思いやり」講師: 須永美知夫氏(足利学校・全国論語研究会副会長)
- ◆足利市長選挙公開討論会



例会「自分が輝けば周りも輝く!～真のリーダーとしてあるべき姿～」
講師: 大嶋啓介氏(有限会社 てっぺん 代表取締役)

足利市の主な出来事

- ◆1,568名が成人、平成生まれが初めて成人に
- ◆音楽が流れる織姫観光トイレ完成
- ◆観光シーズンの渋滞解消へ富田、迫間地下道が完成
- ◆天皇陛下御即位20年を祝い八木節が皇居パレード参加



あらゆる救助活動、テロ対策対応の救助工作車を17年振りに更新

この年の代表的なニュース

- ◆8月の衆議院選挙にて、民主党の圧勝
- ◆プロゴルファー石川遼が、最年少賞金王に輝く
- ◆21世紀で最も長い時間の皆既日食を観測
- ◆リーマン・ショックの影響が払拭されず、不景気が続く

☆流行語

「政権交代」、「こども店長」、「事業仕分け」、「草食男子」

☆流行歌

- ・明日かくるなら(JUJU)
- ・Love Forever (加藤ミリヤ/清水翔太)